

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 株式会社ハピネット 上場取引所 東
 コード番号 7552 URL <http://www.happinet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営本部長 (氏名) 柴田 亨 (TEL) 03-3847-0410
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	35,150	7.3	449	194.1	392	309.2	177	—
29年3月期第1四半期	32,757	△12.2	152	△80.4	95	△87.9	△26	—

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 899百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △66百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	8.18	7.98
29年3月期第1四半期	△1.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	57,066	32,776	56.6
29年3月期	61,337	32,311	51.8

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 32,316百万円 29年3月期 31,760百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	77,000	6.3	1,200	42.1	1,100	48.3	700	112.4	31.67
通期	180,000	3.4	4,200	13.6	4,000	14.9	2,500	22.5	113.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	24,050,000株	29年3月期	24,050,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	2,272,970株	29年3月期	2,368,110株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	21,690,169株	29年3月期1Q	22,682,130株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成29年8月9日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いており、個人消費も緩やかに持ち直してはいるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動への懸念により、景気の先行きは依然不透明な状況で推移しております。

当社グループの関連業界におきましては、「Nintendo Switch」の発売などによりビデオゲーム市場は持ち直しの動きがあったものの、玩具市場は少子化や消費者ニーズの多様化、映像音楽市場はソフト配信の普及によるパッケージ市場の低迷などにより、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループの業績につきましては、ビデオゲーム事業が好調に推移したことや、映像音楽事業で自社幹事作品がヒットしたことなどにより、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は351億5千万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は4億4千9百万円（同194.1%増）、経常利益は3億9千2百万円（同309.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億7千7百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2千6百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①玩具事業

中核事業であります玩具事業につきましては、バンダイの「仮面ライダーエグゼイド」や「ウルトラマンオーブ」関連商品が引き続き好調に推移したものの、市場全体をけん引するに至らず、売上高は前年同期を下回りました。利益面においては、販売管理費の削減などにより前年同期を上回りました。

この結果、売上高は134億5千万円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は3億円（同5.4%増）となりました。

②映像音楽事業

映像音楽事業につきましては、パッケージ市場全体が低調に推移している中、当社グループにおきましても売上高は低調に推移いたしました。利益面においては、自社幹事作品である映画「キセキーあの日のソビト」のヒットなどが貢献し、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は79億4千4百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は8千9百万円（前年同期はセグメント損失5千4百万円）となりました。

③ビデオゲーム事業

ビデオゲーム事業につきましては、「Nintendo Switch」の本体及び「マリオカート8 デラックス」などのソフトが好調に推移し、売上高、利益面ともに前年同期を大幅に上回りました。

この結果、売上高は92億6千3百万円（前年同期比58.8%増）、セグメント利益は6千1百万円（前年同期はセグメント損失1億2千9百万円）となりました。

④アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、カプセル玩具、キッズカードゲーム機商材ともに、仮面ライダー関連商品は好調に推移したものの、市場全体をけん引するに至らず、売上高、利益面ともに低調に推移いたしました。

この結果、売上高は44億9千2百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益は3億5百万円（同11.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ42億7千万円減少し、570億6千6百万円となりました。これは主に、流動資産の減少49億4千6百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ47億3千6百万円減少し、242億9千万円となりました。これは主に、流動負債の減少47億8千6百万円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億6千5百万円増加し、327億7千6百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加7億2千2百万円及び利益剰余金の減少2億5千6百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,605	13,932
受取手形及び売掛金	28,258	19,753
たな卸資産	6,300	7,812
その他	2,813	2,532
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	48,975	44,029
固定資産		
有形固定資産	777	779
無形固定資産	1,005	1,143
投資その他の資産		
投資有価証券	7,105	7,989
その他	3,483	3,128
貸倒引当金	△9	△4
投資その他の資産合計	10,579	11,113
固定資産合計	12,361	13,036
資産合計	61,337	57,066
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,550	16,904
未払法人税等	624	95
賞与引当金	242	303
その他の引当金	12	10
その他	2,758	3,088
流動負債合計	25,188	20,402
固定負債		
退職給付に係る負債	2,906	2,945
その他	931	942
固定負債合計	3,837	3,887
負債合計	29,026	24,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751	2,751
資本剰余金	2,784	2,795
利益剰余金	27,054	26,798
自己株式	△1,997	△1,917
株主資本合計	30,592	30,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,167	1,889
繰延ヘッジ損益	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	1,167	1,888
新株予約権	551	459
純資産合計	32,311	32,776
負債純資産合計	61,337	57,066

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	32,757	35,150
売上原価	28,445	30,567
売上総利益	4,312	4,582
販売費及び一般管理費	4,160	4,133
営業利益	152	449
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	27	46
その他	9	12
営業外収益合計	36	59
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	93	115
その他	0	0
営業外費用合計	93	115
経常利益	95	392
特別利益		
特別損失		
固定資産除却損	7	0
特別損失合計	7	0
税金等調整前四半期純利益	88	392
法人税、住民税及び事業税	44	74
法人税等調整額	70	140
法人税等合計	115	214
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26	177
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△26	177

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26	177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△44	721
繰延ヘッジ損益	3	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△40	721
四半期包括利益	△66	899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△66	899
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,300	8,138	5,832	4,487	32,757	—	32,757
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	14,300	8,138	5,832	4,487	32,757	—	32,757
セグメント利益 又は損失(△)	284	△54	△129	345	445	△292	152

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△292百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△292百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	玩具事業	映像音楽事業	ビデオ ゲーム事業	アミューズ メント事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,450	7,944	9,263	4,492	35,150	—	35,150
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	13,450	7,944	9,263	4,492	35,150	—	35,150
セグメント利益	300	89	61	305	755	△306	449

(注) 1. セグメント利益の調整額△306百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△306百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。